

令和4年度全国高等学校定時制通信制体育大会 第32回バスケットボール大会

新型コロナウイルス感染対策ガイドライン

新型コロナウイルスの感染拡大が収束しない状況が続いているため、先行きの見通せない中での計画となります。本事務局としては、第32回大会の開催に向けて、以下のガイドラインを定めました。

なお、このガイドラインは「JBA バスケットボール事業・活動実施ガイドライン(手引き)第5版(2022年5月12日作成)」、「令和4年度全国高等学校総合体育大会実施時における新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する基本方針第3版(令和3年12月3日公共財団法人全国高等学校体育連盟)」および「中学生・高校生等を対象とした全国大会・コンクール等における感染拡大予防ガイドライン(令和3年6月2日スポーツ庁文化庁)」をもとに作成しております。

1 来場者対応

- 第32回大会は無観客試合にする。入場は選手、コーチ、引率教員、審判、大会関係者のみに限定する。各都道府県高体連関係者、出場校関係者、保護者、OB・OG、友人等の応援を目的とした入場はできない。
- 会場に入場する際に、手指消毒と検温を実施する。
- 検温結果が37.5℃以上の者は、別室で再度検温をする。再検温の結果が37.5℃未満の場合は、入場を許可する。再検温の結果が37.5℃以上の場合は会場責任者の判断で入場を断ることがある。いずれの場合も、再検温の結果が出るまで、選手、コーチ、引率教員等も会場に入ることができない。また、再検温の結果が37.5℃以上の場合は、本ガイドライン「6 会場責任者が参加者に出場辞退の勧告や出場資格の取り消しの指示を検討する場合」の規定により、会場責任者は出場資格の取り消しを行う。
- 退場は自由とするが、再入場の際は、再度検温と手指消毒を行う。
- 会場内での食事は極力避ける。会場内で食事をする際は定められた場所で、距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること。
- ゴミ(飲料のボトルや、消毒に使用したティッシュ、使用済みマスク等)は原則持ちかえる。
- 飲みきれなかった飲料等を指定場所以外に捨てない。
- 会場内ではマスクを着用する。
- こまめなうがい手洗いをする。
- 会場に入場する全ての人(選手・引率教員・審判員・運営役員等)は、大会直近2週間の体調管理および検温を行い、指定の健康チェックシートに記録する。また、試合当日に健康チェックシートを大会事務局に提出する。

なお、この期間に、以下の症状や状況となった場合は、会場への入場及び大会参加を認めない。

1. 37.5℃以上の発熱が1日でも認められた。
2. 健康チェック欄への記入がない。
3. 濃厚接触者として保健所の指示を受けている。

※ただし、1～2の対象者は、陰性証明書の提出により、出場や入場を許可する。

※また、大会直近2週間に陽性となり、大会までに待機期間が終了した場合も同様とする。

なお、医療機関の都合で陰性証明書の提出が難しい場合は、陽性結果通知や待機終了日が明記されているメール、療養証明書（アプリ My HER-SYS）等を参加当日に受付で見せることで、出場や入場を許可する。（令和4年8月2日追記）

また、濃厚接触者と待機期間については次のとおりとする。

(1) 待機期間

7日間とし、8日目を大会参加可能とする。

(2) 日数の起算方法

ア 当該感染者（陽性者）の発症日を起算とする

イ 当該感染者（陽性者）が無症状の場合は、検体採取日、または感染対策を講じた日を起算とする

(3) 最短でも4日間の待機期間は確保すること。

なお、5日目からの大会参加を許可する場合は、抗原定性検査キットを用いた検査で陰性であることと、医療機関による陰性証明書と学校長の許可（許可書（指定の様式無・または電話での確認）の提出を条件とする。

2 会場の感染対策

- 会場内の換気を行う。
- 入場者の待機場所を指定する。
- 試合終了毎にベンチ、TO席の消毒を行う。
- その他、多くの人が頻繁に触れる箇所や物品（競技用品を含む）を定期的に消毒する。

3 出場校

- 出場校は、第1試合は試合開始80分前、第2試合以降は前試合の試合開始時間の30分前よりも早く会場に入場することはできない。
- 試合前は、指定された場所で待機する。
- 自チームの試合終了後は、速やかに会場を退出する。
- スカウティング（視察）については別紙「スカウティングについて」を遵守すること。
- 試合中の注意点
 - ・試合前、試合後に相手チーム、審判との握手は実施しない。
 - ・両チームベンチへの挨拶を実施しない。
 - ・円陣はしない。
 - ・倒れた相手選手に手を貸さない。
 - ・ハイタッチ、抱擁を行わない。
 - ・咳エチケットを守る。
 - ・ボトルを共有しない。

- ・タオルを共有しない。
- ・コート上でチームメイト、審判と会話する際にもお互いの距離について配慮する。
- ・ベンチではマスクを着用し、会話を控える。
- ・その他、感染リスクが高いと考えられる行為をしない。

- 「6 会場責任者が参加者に出場辞退の勧告や出場資格の取り消しの指示を検討する場合」に該当する場合は、ただちに会場責任者に報告をする。
- 試合終了 48 時間以内に発熱等の症状が出た場合は、敗退したチームも含めて、会場責任者に報告をする。
- 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、会場責任者に報告をする。

4 式典について

- 開会式は、中止とする。
- 閉会式および表彰式は、前回大会と同様に、男女それぞれ上位 4 チームずつ計 8 チームの出席とする。選手は全員出席できる。その際、3つの密（密閉・密集・密接）に十分注意して式を進行する。

5 大会中止を検討する場合

- 関係する自治体や主催者が、感染拡大が懸念されると判断した場合。
- 大会参加チーム数の 10%以上の辞退チームがあった場合。

6 会場責任者が参加者に出場辞退の勧告や出場資格の取り消しの指示を検討する場合

- 大会までに陽性者が回復しない場合。
- 濃厚接触者の隔離期間（保健所等から指定された期間）が解除されない場合。
- 出場チームに感染疑いが生じて安全性の判明が間に合わない場合。
- 大会中に出場チーム（対戦相手チームの場合もある）に新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者や感染疑いの者が生じた場合。
- 大会中に出場チームに 37.5 度以上の発熱者が生じた場合。
- 勝利チームが対戦した相手（敗退したチーム）に感染疑いが発覚した場合。

7 ガイドラインの拘束力

- 大会関係者は、ガイドラインの記載事項を遵守しなければならない。